

## 3年実力テスト 1・2年中間テスト 学習のPDCA サイクル

今週の金曜日、3年生は第1回実力テスト、1・2年生は1学期中間テストがおこなわれます。

1年生にとっては初めての定期テスト、3年生にとっては進路決定に向けての最初のテストになります。

すでに準備は始めていますよね。

テストは、その点数に一喜一憂しがちですが、何が理解できていて、何が理解できていないのかを確認するためのものです。基礎的なところに課題があるのか、それとも応用力に課題があるのか。単なるイージーミスをしてしまったのか。理解できているものの回答の仕方に誤りがあったのか。そもそも授業内容を理解できていなかったのか。復習ができていないままテストに臨んだのか。みなさんそれぞれに課題があるはずです。

その一人ひとりの課題を確認し、これからの学習に生かしていくのがテストの目的です。一夜漬けの学習では、本当の力は身につけませんし、課題も見つかりません。これまでの授業を振り返り、テストまでの具体的な計画を立ててください。そして、テストの結果から日々の学習を振り返り、最終目標の達成に向け自己のレベルアップを図ってください。

『PDCA サイクル』というシステムがあります。これは欧米で使われているマネジメントサイクルの典型例で『PLAN・計画』『DO・実行』『CHECK・確認』『ACTION・改善』というサイクルのことをいいます。企業だけではなく学校においてもこの「PDCA サイクル」を活用して、効果的な運営を行っています。

『PLAN』とは、自分が目標とする学力を身に着けるために、どのように学習を進めていくのか『計画』を立てることです。

『DO』とは、その計画に基づいて、日々の学習を『実行』することです。

『CHECK』とは、テストを受けて、今の自分の学力を『確認』することです。

『ACTION』とは、テストの結果を踏まえてこれまでの計画を振り返り、自己の課題に応じた学習計画・学習の仕方を『改善』することです。

この4段階を順次行って1周したら、最後の ACTION を次の PDCA サイクルにつなげ、螺旋を描くように1周ごとにサイクルを向上（スパイラルアップ）させていきます。継続的に学習改善していくことで、学習効果が高まり、段階的に学力が身についていくことになります。

事前の準備をしっかりとてテストに臨んでください。計画も行動もないところには課題ありません。

しんどいこと、つらいことに立ち向かい、それを乗り越えた時にこそ、本物の達成感、充実感を味わうことができます。きっとその時、一回り成長した自分を感じられるはずです。

相田みつをさんの詩を紹介します。しんどいことから逃避している人はいませんか。



### 3 年沖縄修学旅行 貴重な体験と平和への思いを実感

5月18日（土）～20日（月）の3日間、3年生はこれまで学習してきた沖縄の地を訪れ、平和の尊さや自然の雄大さ、沖縄の人たちが創り上げてきた文化や人の心に直接触れ、より深い集団を創り上げることを目的に修学旅行に取り組みました。

1日目は平和学習です。ひめゆり平和記念資料館を訪れ、ひめゆり学徒隊の現実、戦争の実態を展示資料や映像証言、手紙などから学習しました。続いて、平和記念公園を訪れ、摩文仁の丘での平和セレモニーでは、これまで学習してきた平和への思いを発表し、最後に平和宣言を読み上げました。最後に、糸数アブチラガマを訪れ、ガイドさんからの説明を聴きながらガマの中での作業や沖縄戦の真実について学習させていただきました。

2日目は民泊体験です。18件の民家に分かれ、それぞれの家庭で沖縄の生活や文化、食事などを体験させていただくとともに、観光にも連れて行ってくださいました。また、あざまサンサンビーチでの自由遊泳を全員で楽しみ、今の沖縄を満喫しました。

3日目は国際通りでの自由散策です。班で立てた計画に沿って、沖縄での最後の時間を楽しんでいました。

この修学旅行では、『規律ある集団行動』『感謝の気持ち』について学んでほしいとお願いしました。行く先々でマナーや行儀のよさを誉めていただき、民家の方々とは家族のように涙ながらに分かれを惜しむ姿がみられ、修学旅行の成果を実感することができました。この経験を生かし、今後の様々な取組やそれぞれの進路に向け、積極的に取り組んでいってほしいと思います。

### 1 年一泊移住 京都府立青少年海洋センター（マリーンピア）

5月23日（木）・24日（金）の2日間、1年生は、日本海に面した自然豊かな京都府立青少年海洋センター（マリーンピア）で、仲間づくり、集団作りを目的に充実した活動を行ってきました。

2日間とも好天に恵まれ、カッター訓練やフィールドアスレチック、室内オリンピック、カレー作りに取り組みました。みんなで息を合わせ櫂を扱わなければ進まないボート、みんなで役割を分担しそれぞれが責任を持って作業し手助けしなくてはならないカレー、集団生活をとおして、協力することの大切さ、思いやり、集団規律などについて、1年生はしっかりと学ぶことができました。

この2日間を通じて、時間を追うごとに成長していく1年生の姿を実感できました。小学校の時とは違う集団規律の厳しさを感じながらも、一つひとつの活動にしっかりと取り組み、友達の良いところもたくさん見つけ、仲間とともに活動を創りあげる楽しさを実感してくれたと思います。これからの1年生のさらなる成長を期待しています。

